

# 猿沢池の外来カメの詳細



紀伊半島野生動物研究会両爬虫

中井 穂瑞嶺

# ペットとしてのカメ



ペットとして飼育される爬虫類の中でも、カメの仲間は人気があり輸入量も多く、様々な種類が輸入されてきます。輸入されてくるカメの中には日本に帰化する恐れのあるもの、世界的に希少なものも含まれています。

輸入されてくるカメは、2つに分けられます

CB個体 飼育下において繁殖された個体

WC個体 野生にいたのものを採取してきた個体

種類によりますが、WC個体に比べてCB個体のほうが飼育しやすいため、高値で取引されます。

# 輸入のシステム

## WCの場合

日本の動物専門の輸入業者(問屋)が現地のブローカーにほしい種類を注文する。

ブローカーが現地の採集者(シッパー)に集めさせる。

## 日本に向け輸出

輸入業者(問屋)からペットショップへ(小売店)

CBの場合は採集者が繁殖業者(ブリーダー)に変わります。

日本国内には爬虫類を扱う業者(問屋)が30件ほどありますが、近年はペットショップでも中間業者を通さずに直輸入を行なう店舗が増えています。

# 爬虫類の繁殖の進んでいる国

商業目的の爬虫類の繁殖が行なわれている代表的な国は、ドイツ、アメリカ、スイスなどです。

希少なカメは特にヨーロッパで盛んに行なわれています。

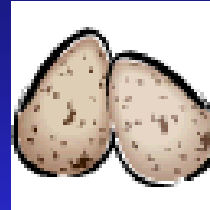
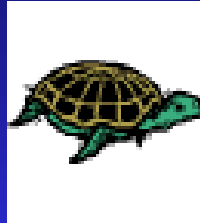
日本国内ではあまり行なわれていません。

# ミドリガメ、クサガメの大量輸出体制



日本で最も多く輸入されているカメの一つがミドリガメ、クサガメです。このカメの輸出には特殊な技術が利用されています。

# 生まれてきた子ガメとタマゴ

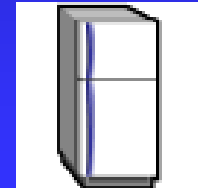


## 日本へ向けて出荷



羽化したカメの幼体や卵を一定の低温室に入れ代謝を低くし、発育を抑え、いつでも子ガメの状態でお届けできる状態にしています。日本の在来種であるクサガメもアメリカから出荷されています。

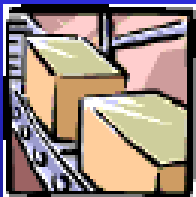
## 低温室に入れる



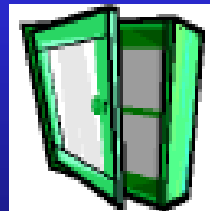
## 注文が入る



## 木箱に梱包される



## 低温室から出される



# 猿沢池の外来カメ



猿沢池では多くの外来カメが生息していますがその中で、現在生息していると思われる種類、過去に見つかった珍しい種類を中心に紹介していきます。

(写真は全て当研究会の井手 泉さんが撮影)

# 今回紹介する外来カメの原産地

シャンハイハナスッポン  
ハナガメ  
ミナミイシガメ

中国（台湾を含む）より3種

アメリカ合衆国より9種

中近東より1種

カスピイシガメ

東南アジアより1種

マレーハコガメ

カミツキガメ  
キタニセチズガメ  
ミシシッピチズガメ  
テネシークーター  
キバラガメ  
ミシシッピアカミミガメ  
カンバーランドキミミガメ  
フロリダアカハラガメ  
アラバマアカハラガメ

計14種類（外来カメの交雑個体を除く）

# ミシシッピーアカミミガメ

*Trachemys scripta elegans*



名前どおり赤い顔に模様があり、  
幼体の頃はミドリガメと呼ばれる。



年をとった個体は模様が消える。

# カンバーランドキミミガメ

*Trachemys scripta troosti*



眼の後ろに、黄色い線がある。



正面から

# キバラガメ

*Trachemys scripta scripta*



顔には大きな黄色い斑紋がある。



腹甲には斑紋はないか、  
あっても胸甲板まで

# アラバマアカハラガメ

*Pseudemys alabamensis*



眼と眼の間に5本の線がある。



甲羅の色は成長と共に薄れる。

# フロリダアカハラガメ

*Pseudemys nelsoni*



眼と眼の間に3本の線がある。



アカハラという名前だが、腹甲の色は黄色や橙色の個体も多い

# テネシークーター

*Pseudemys concinna hieroglyphica*



幼体、甲羅に複雑な模様がある。



ペットショップではコンキン  
ナヌマガメと呼ばれている。

# キタニセチズガメ

*Gratemys pseudogeographica*



眼の後ろに黄色い斑紋がある。

# ミシシッピチズガメ

*Graptemys konii*



ペットショップではハイイロチズガメと呼ばれている。

# ホクベイカミツキガメ

*Chelydra serpentina serpentina*



二匹のカミツキガメが交信しているように見える。



コモンスナッパーとも呼ばれている。

# ハナガメ

*Ocadia sinensis*



泳いでいる個体



台湾産の個体と思われる。

# マレーハコガメ

*Cuora amboinensis*



ジャワ島に生息する亜種ではないかと思われる。



危険を感じると名前どおり箱状になる。

# ミナミイシガメ

*Mauremys mutica*



眼の横に黄色い線がある。



台湾から輸入されており、この個体も台湾産ではないかと思われる。

# シャンハイハナスッポン

*Rafetus swinhoei*



同定の結果本種であると思われる。珍しい種類だが、時折スッポン料理店の食用スッポンに混じっていることがある。

# 外来カメの交雑種について



猿沢池において発見された外来カメの交雑と思われる個体です。

# 交雑個体

キバラガメに似ているが、詳細は不明



キバラガメに似ているが、顔の模様が違う。



腹甲はキバラガメとよく似ている。

# 交雑種

キバラガメとミシシッピーアカミミガメとの交雑個体と思われる。



顔の様子は両種の特徴をそなえている。



腹甲はミシシッピーアカミミガメに似ている。

# 交雑種

詳細は不明



正体不明である。



腹甲の様子はカンバーランドキミミガメにも似ている。

## その他の外来カメ

カスピシガメ・・・2003年5月13日に始めて確認された。

ミナミシガメとクサガメの交雑種・・・両種の特徴を備えている。

その他、中国産のクサガメ、中国産のスッポンなどが放されている可能性が高い。